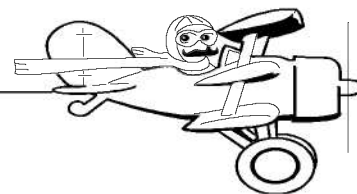


今回のテーマ

がん治療について①



今回は最近注目を集めているがん治療についてお伝えいたします。

がんの治療も現在多くあり、治療方法も年々変化しております。

がん治療について、今回、次回と2回に分けてご紹介いたします。

がん入院治療は年々短期化、通院治療は増加しております。

部位	平成8年	平成11年	平成14年	平成17年	平成20年
胃	47.1	41.8	38.7	34.6	26.8
結腸	37.1	37.2	30.7	27.8	18.9
直腸S状 結腸移行部 及び直腸	45.6	42.2	37.6	33.6	19.7
肝臓	38.4	33.2	29.6	26.9	22.4
肺	50.1	44.8	38.8	34.1	27.2
乳房	36.1	30	25.2	17	15.5
子宮	42.2	34.9	30.9	21.6	17.1
悪性 リンパ腫	72.4	63.5	51.2	37.5	34.9
白血病	68.9	65.3	64.3	57.9	52.1
その他	47.7	39.4	33.7	28.5	24.2

単位：日

全ての部位
において入
院日数が減
少しておりま
す。今後も入
院日数が短
期化していく
可能性があ
ります。

がん通院治療は長期化することも・・・

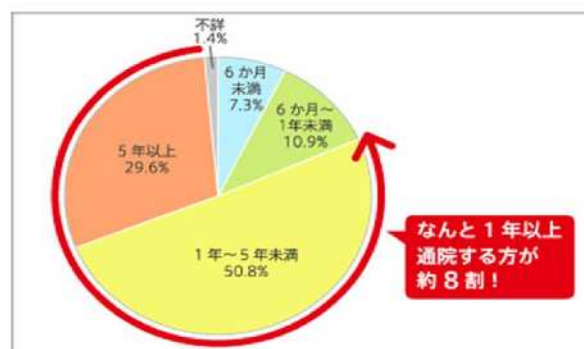
がんの通院治療は長期化する傾向があり、全体の約8割の方が1年以上通院を続けています。

また、全体の約3割の方は5年以上通院しています。

がんの通院治療の長期化には、近年の化学療法の薬剤開発が大きくかかわっており、分子標的薬や抗体医薬といった治療効果の高い抗がん剤の開発も要因の1つになっています。

がん治療の通院治療期間別の割合

1年以上になる割合が非常に多いようです。



今回はがん治療の入院日数、通院日数についてみてみました。日に日に変化するがん治療に現在の保険の内容があっているのかご確認いただけたら幸いです。内容等詳細については、具体的な相談に応じますので、お気軽に声をかけてみてください。